

週刊 タバコの正体

タバコを吸い続けると喫煙者の身体は少しずつダメージを受け、さまざまな病気になる確率が大きくなります。その病気の種類はざっと次の表のとおり。こんなに色んな病気になる可能性があるのです。

がん	肺がん 鼻腔・副鼻腔がん 喉頭がん 口腔がん 咽頭がん 食道がん 胃がん 肝臓がん 膵臓がん 白血病 腎臓がん 腎盂・尿管がん 膀胱がん 子宮(頸)がん がんの早期転移 重複がん
呼吸器	慢性閉塞性肺疾患(慢性気管支炎 肺気腫) 呼吸機能低下 気管支喘息 急性気管支炎 肺炎 好酸球性肺炎 肺ランゲルハンス細胞肉芽腫症 特発性間質性肺炎 剥離性間質性肺炎 間質性肺疾患関連呼吸細気管支炎 慢性喉頭炎・声帯浮腫 喉頭ポリープ 呼吸細気管支炎 自然気胸 風邪(ひきやすく 長引く)
循環器	不整脈 血圧上昇 動脈硬化 狭心症 心筋梗塞 大動脈瘤・大動脈解離 閉塞性動脈硬化症 バージャー病
脳 神経	脳卒中(脳梗塞 クモ膜下出血) 脳血管性認知症
男性性機能	勃起不全 精子の異常
女性性機能	早発閉経 不妊症 子宮外妊娠

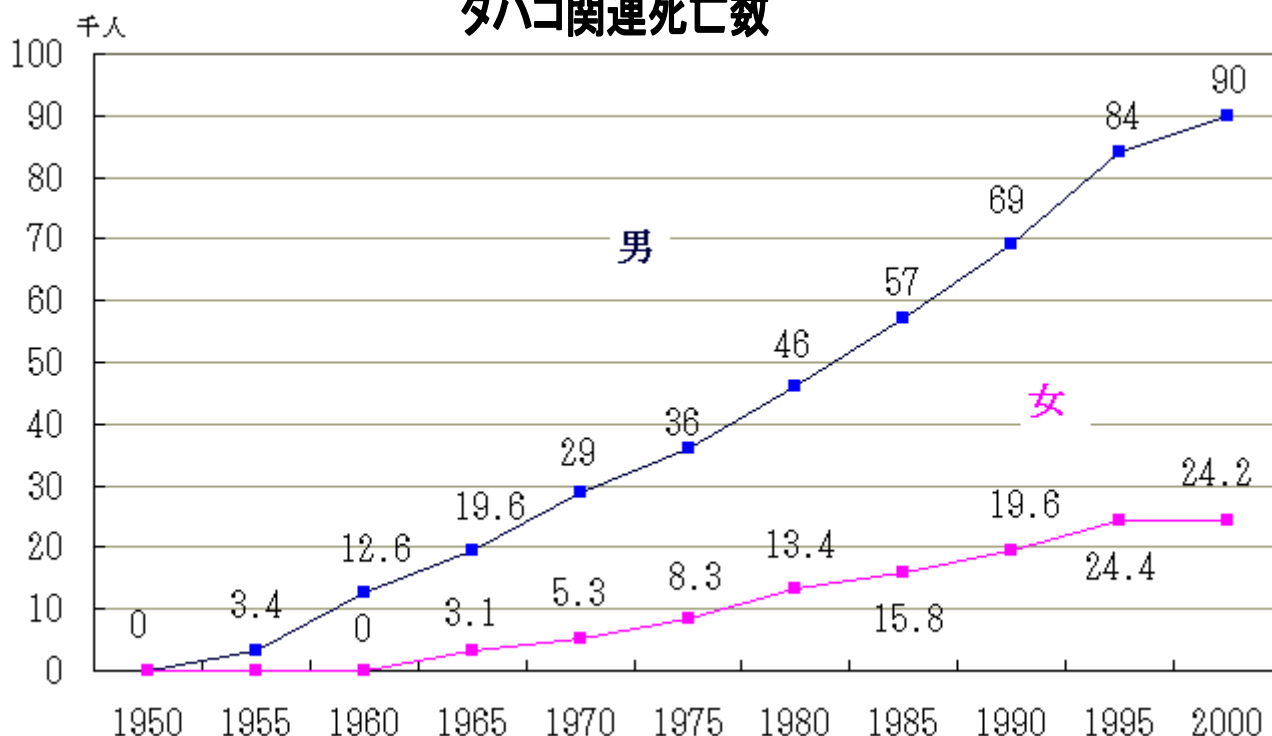
「タバコ病辞典」サイトから

そして、その病気が原因で死亡する人は下のグラフのとおり、男女合わせて年間10万人を超えるまでに増加しています。厚生労働省の人口動態統計によると2000年度の全死亡者は約100万人だそうです。という事は死亡者のうち10人に1人はタバコのせいで亡くなっていることになります。

こんなに多くの命を奪っているのだと思うと、これ以上タバコを吸う人を増やしてはいけません。

産業デザイン科 奥田 恭久

タバコ関連死亡数



厚生労働省「最新たばこ情報」サイトから